

カバヤ食品株式会社 環境方針

カバヤ食品株式会社は自然の恵み豊かな環境の中で、多種の菓子生産を行っています。

これらの事業活動が環境に影響を与えていることを深く認識し、以下の方針に基づき環境保全、保護活動を実施します。

- ① 当社の事業活動、製品・サービスが環境に与える影響を的確に捉え、環境マネジメントシステムを構築、実施し、環境汚染の予防などを推進すると共に、環境マネジメントシステムの有効性を継続的に改善します。
- ② 関連する環境法令、その他の受け入れを決めた要求事項を順守します。
- ③ 当社の活動、製品、サービスに関し、以下の項目について継続的に改善します。
 - 1) エネルギーの使用削減に努める。
 - 2) 天然資源の使用削減に努める。
 - 3) 工場から出る廃棄物の削減に努める。
 - 4) 地球温暖化防止につながる活動に努める。
- ④ 以上の項目について目標を設定し、その目標達成に努めます。
 1. 環境方針を組織内の全従業員に周知するように努める。
 2. 環境方針を定期的に見直し、適切性を維持する。

カバヤ食品 エネルギー使用量

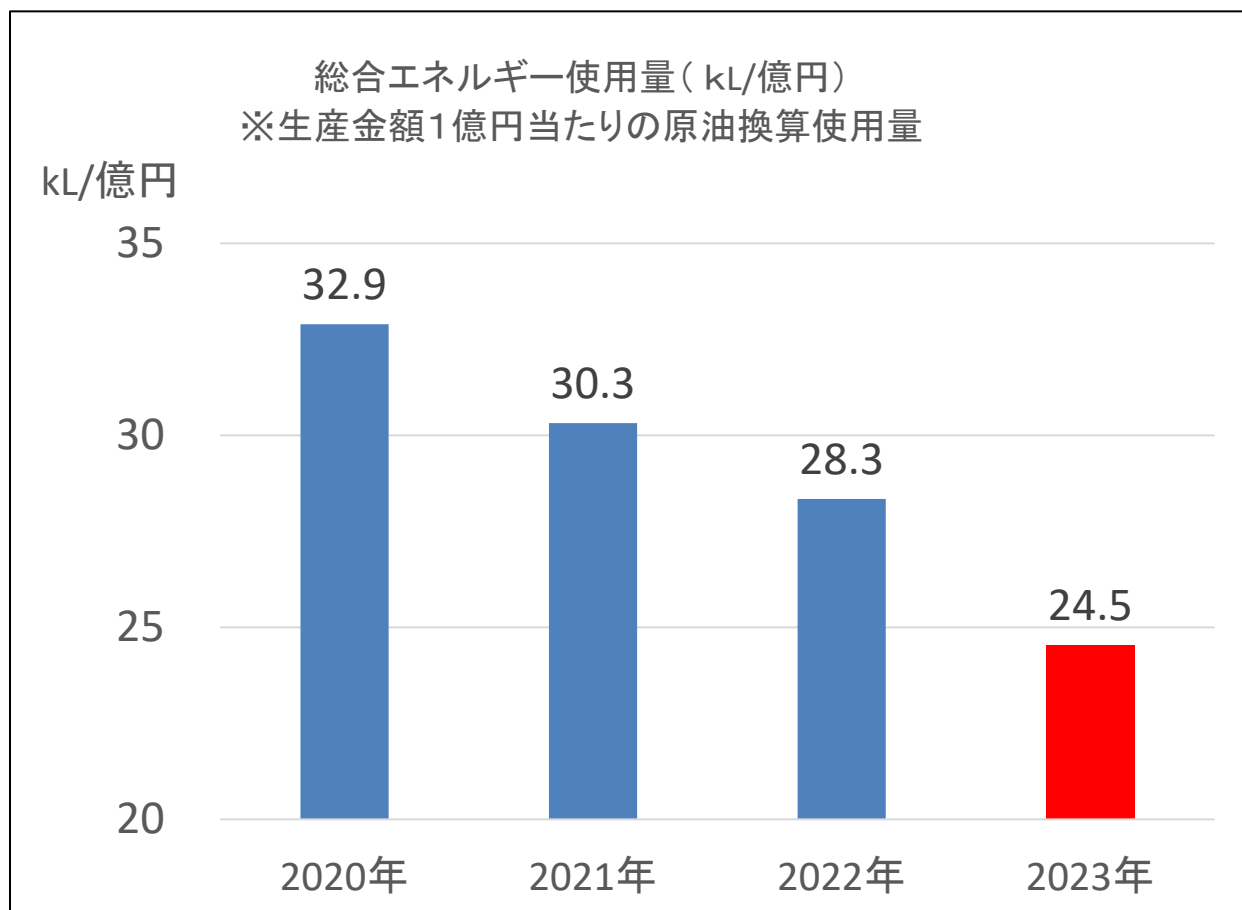
エネルギーは「電力」、「LPガス」を主に使用しています。

省エネルギー及び温室効果ガス削減対策として省エネ設備への更新(LED照明へ変更等)と休憩時間の消灯、空調機(冷房・暖房)の温度・湿度管理、空調機のフィルタ清掃などを実施しています。

各従業員に対して省エネルギー、温室効果ガス削減対策を周知・伝達し、環境活動への意識向上をはかっています。年度別の 実績を以下に示します。

●岡山工場・関東工場の総合エネルギー使用量年度別実績

※総合エネルギー使用量：電力、LPガス使用量を原油使用量に換算した値

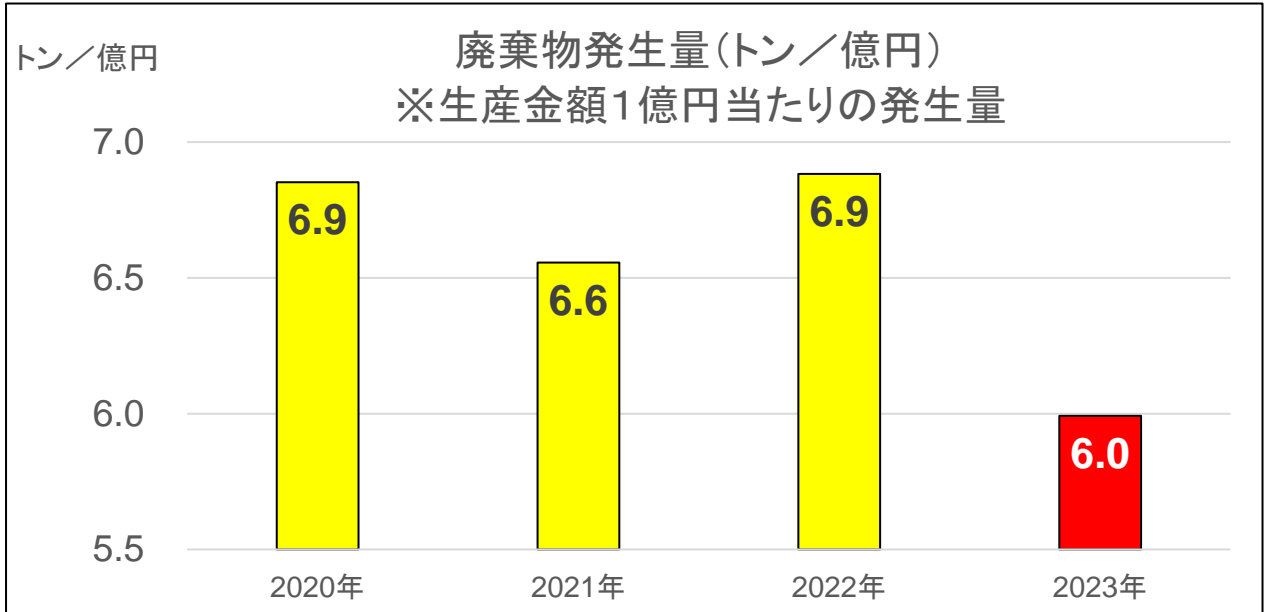


カバヤ食品 廃棄物発生量

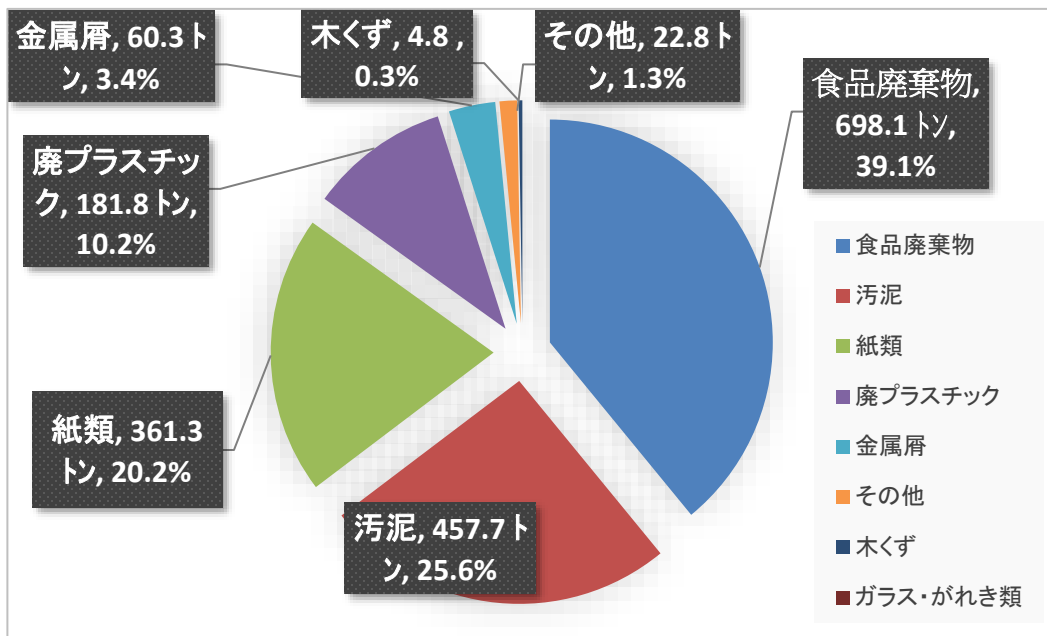
製品の製造・包装作業時の不良品削減などに取り組むことで、食品廃棄物(菓子・原料くず)、廃プラスチック、紙類などの廃棄物の発生抑制を実施しています。

同時に、発生した廃棄物は、分別を徹底し、焼却・埋立処理となる廃棄物を削減し、リサイクルを推進して、資源活用、環境負荷の低減に取り組んでいます。発生する廃棄物の年度別発生量は下図の通りです。

●岡山工場・関東工場の廃棄物発生量年度別実績



●岡山工場・関東工場の 2023年度 廃棄物種類別発生量と比率

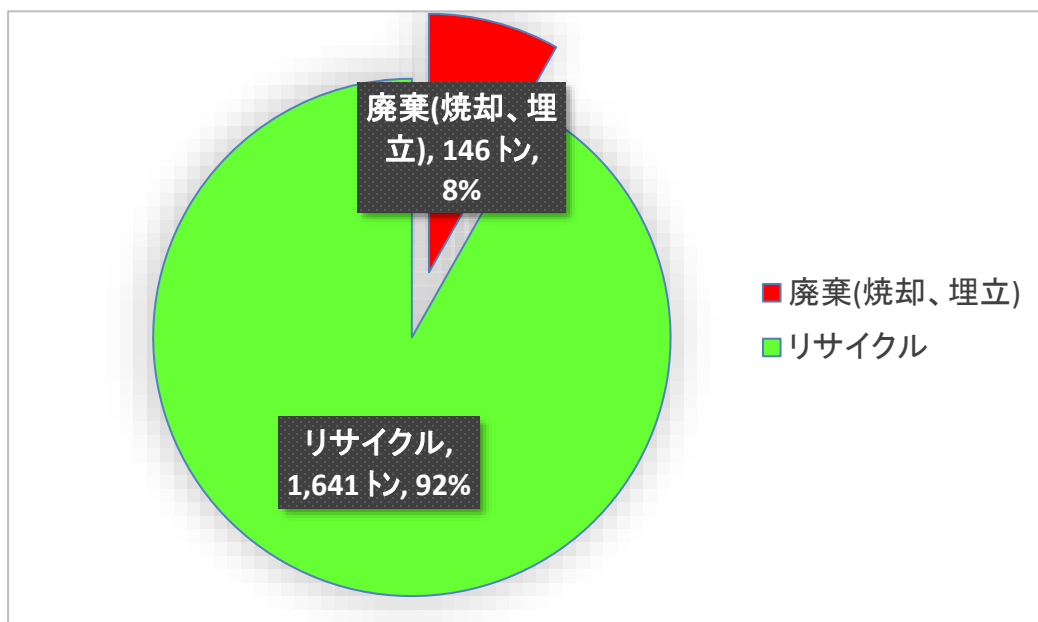


廃棄物のリサイクル実績（2023年度）

廃棄物の発生抑制、リサイクル(資源の有効活用)を推進し、
廃棄処分量を削減しています。

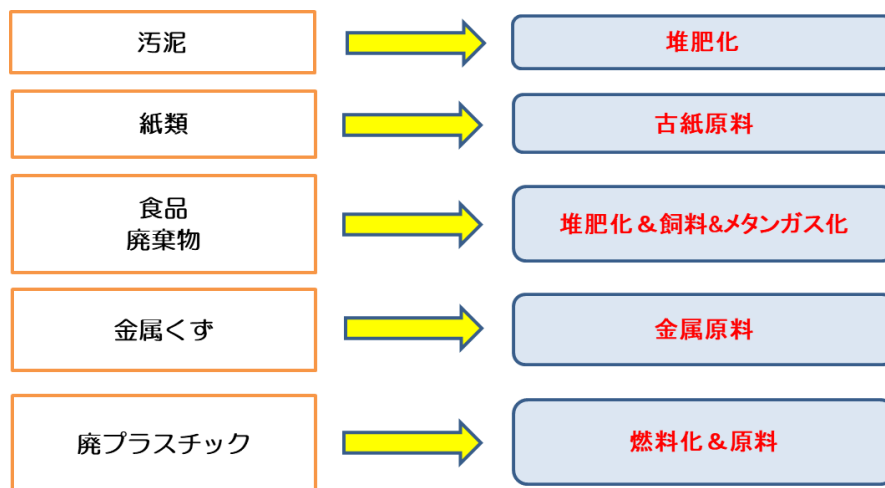
2023年度のリサイクル量とリサイクル率及び廃棄処分量と廃棄処分率の
実績は下記の通りです。

- 岡山工場・関東工場の2023年度 廃棄物処分内訳（廃棄処分と
リサイクル）別発生量と比率



- 廃棄物のリサイクル内容

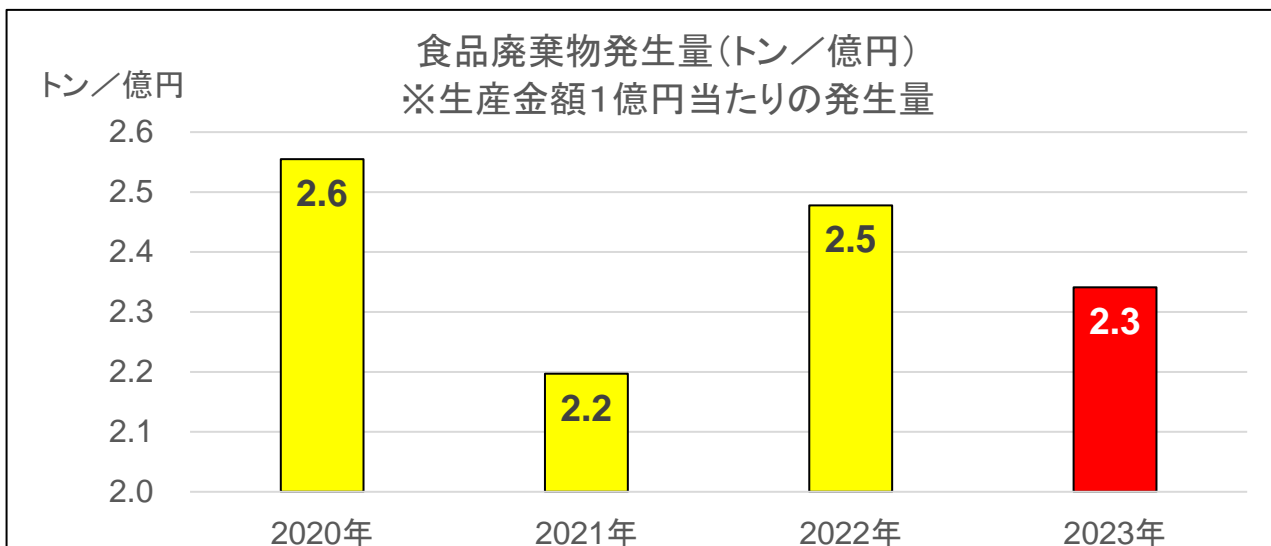
廃棄物のリサイクルは外部に委託して下記のように進めています。



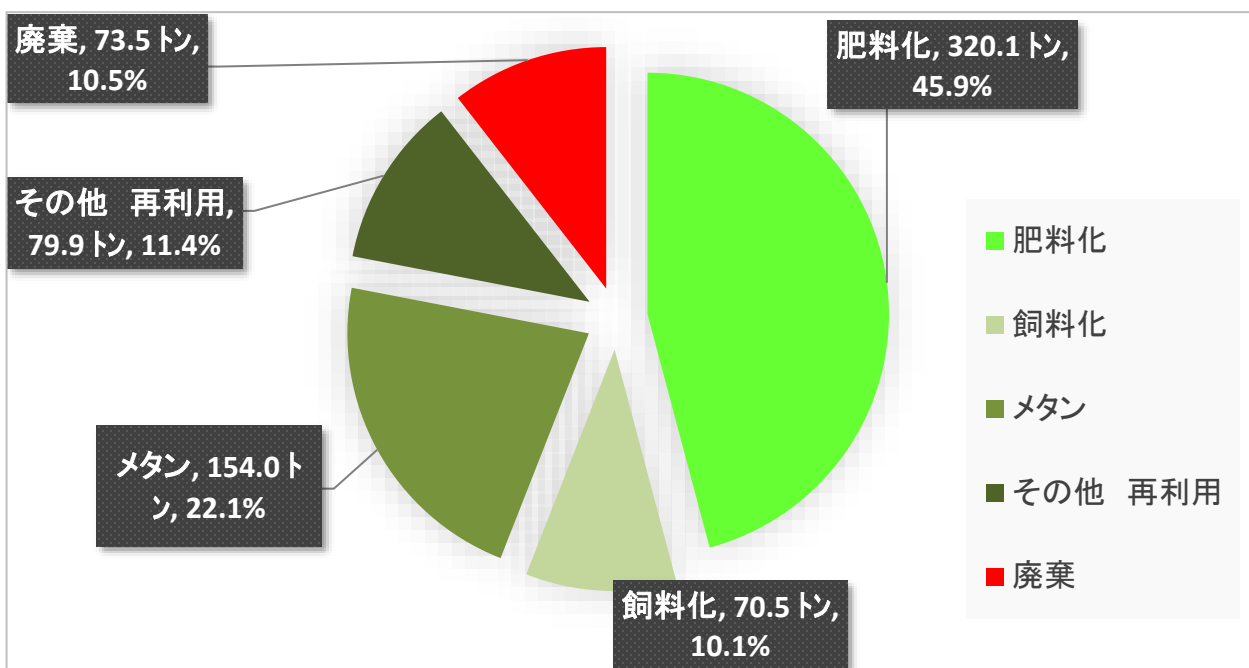
カバヤ食品 食品廃棄物発生量

カバヤ食品では、食品廃棄物(菓子・原料くず)が最も多く発生しています。食品廃棄物の発生抑制を推進しています。同時に、分別を徹底し、焼却処理を削減し、リサイクルを推進して、資源活用、環境負荷の低減に取り組んでいます。発生する廃棄物の年度別発生量は下図の通りです。

●岡山工場・関東工場の食品廃棄物発生量年度別実績



●岡山工場・関東工場の 2023年度 食品廃棄物処理別の量と比率

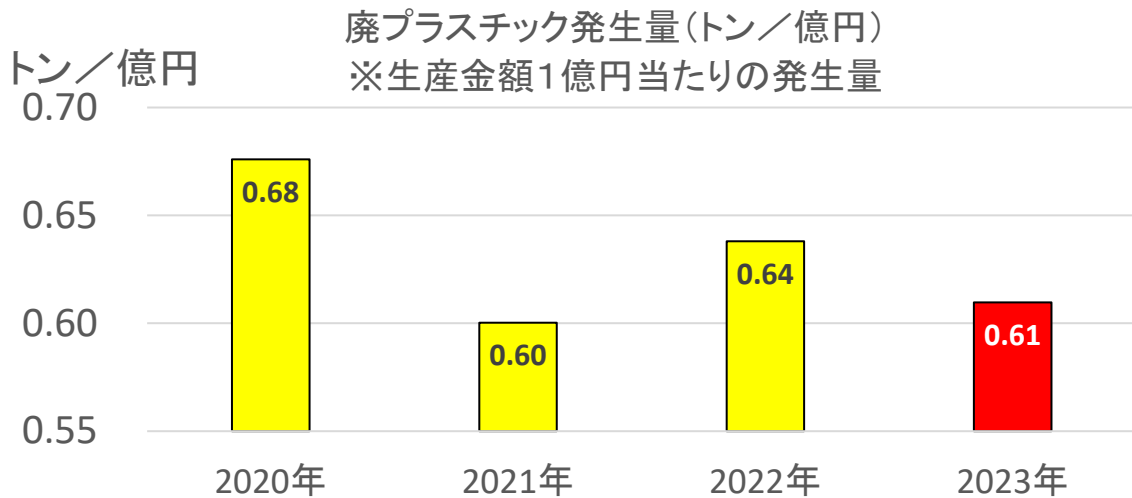


※メタンは発電に利用されます。

カバヤ食品 廃プラスチック発生量

カバヤ食品で発生する廃プラスチックは2023年度では、181トンと食品廃棄物、汚泥、紙類に続く発生量です。しかし、リサイクル処理が非常に困難であること、マイクロプラスチック問題など環境への負荷が大きいので発生抑制を推進し、同時に、分別を徹底し、焼却処理を削減し、燃料化等のリサイクルを推進して、資源活用、環境負荷の低減に取り組んでいます。
発生する廃棄物の年度別発生量は下図の通りです。

●岡山工場・関東工場の廃プラスチック発生量年度別実績



●岡山工場・関東工場の 2023年度 廃プラスチック処理別の量と比率

